

# Sanwa Today

## 10月号

### つながりを大切に！！

秋晴れの心地良い季節になり冷え込むことが多くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？

10月1日の内定式ではオンラインという形になってしまいましたが、画面越しに皆さんにお会いできたことを嬉しく思っております。

来年の4月1日から皆さんと一緒に働けることを楽しみにしております。

皆さんは、「つながり」を大切にしていますか？

私は、資材の発注業務を行っていた時、商社さんとの電話対応や直接納品に来て下さる方の対応をしていた中で「つながり」は、大切だと感じました。

情報交換ができたり、ちょっとしたお話をしたりすることでつながりが広がっていき、とてもコミュニケーションが図りやすくなりました。

皆さんも大学生活で出会った友達や先生とのつながりを大切にしてみてくださいね！

### 内 定 式

10月1日に2022年度入社予定の新卒者の内定式が行われました。

今年は、コロナウイルスの影響でオンラインでの内定式となりました。

色々な場面でオンライン等の非対面での方式が採用されるなど新しい様式に代わり、皆さんも大変な就職活動だったと思います。

弊社もお客様との打ち合わせ、研修等も一部オンラインで行うことが多くなりました。

内定式では、皆さんに直接お会いしてお話しをしたかったという気持ちでいっぱいでした。

ご縁があって皆さんに出会えたことを大変嬉しく思っております。

4月から私たちと一緒に頑張りましょう！！

### 内定おめでとうございます！！



松浦伽穂さん



峰川直人さん



櫻井千賢さん

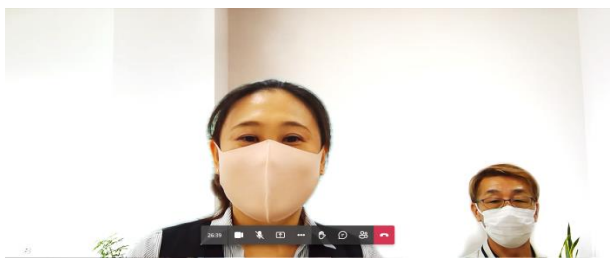




## 内定式当日の裏側

内定式当日の弊社の様子です。

山中社長は社長室から、内定式参加者は研修室からオンラインで参加しました。



## 令和3年度 安全衛生標語

毎年、全国安全週間に合わせて社員全員に安全衛生標語の募集を行っています。  
毎年多数の標語が集まり、今年は137点の作品が集まりました。  
投票を経て、10月4日の全体朝礼にて「佳作3点」「優秀賞1点」「最優秀賞1点」の結果を安全衛生委員会委員長の山田事業部長より発表していただきました。

### 令和3年度安全衛生標語

| 賞    | 標 語               | 作 者   |
|------|-------------------|-------|
| 最優秀賞 | おちつこう ゆとりのなさが 命とり | 足利一樹  |
| 優秀賞  | 気を抜かず 注意力高め ゼロ災害  | 北村茂美  |
| 佳 作  | 「通ります」大きな声で 伝えよう  | 中重 博  |
| 佳 作  | ベテランの 過信と慣れに 怪我多し | 秋山正宏  |
| 佳 作  | 忘れるな 基本動作と 危険予知   | 山田登久夫 |



皆さんも入社後、安全衛生標語の募集が行われるのでぜひ、入賞を目指して良い作品を考えてみて下さいね！  
この安全衛生標語は、各事業部の事務所に掲示されています。



## 食品開発展 2021年

10月6日～8日の3日間で東京ビックサイトにて「食品開発展2021年」が開催されました。食品の4大テーマである健康、美味しさ、安全衛生、フードロングライフに関わる専門展示会であり、山和エンジニアリングの子会社である「マイクロフーズジャパン」が出展しました。新型コロナウイルス感染拡大が心配される中、多くの方がご来場くださいました。

### 食品開発展とは？

食品分野の研究・開発・品質保証・製造技術者向けの専門展示会として1990年にスタートしました。

健康素材を集めたヘルスイングリディエンツジャパン(Hi Japan)、美味しさに関わる素材・技術を集めたフード・テイストジャパン(FiT Japan)、分析・計測、衛生資材、製造技術を集めたセーフティ&テクノロジー(S-tec Japan)、フードロス削減のためのフードロングライフジャパン(LLJ)の4展で開催。

来年度(2022年)は、Hiではプラントベースフード開発コーナー、新食料資源コーナー、FiTでは発酵素材パビリオン、S-tecでは安全・品質向上のためデジタル化推進&AI技術コーナーを設ける予定だそうです。



マイクロフーズのブースには、感染症対策バッチリなぐんまちゃんも参加したようです(笑)

展示会の様子は、当社のホームページのトピックス掲載しています。  
良かったら見てみてください！！

## 産業用ロボット作業者特別教育 ロボット安全講習会

10月12日・13日に講師の方をお招きし、社内で「産業用ロボット作業者特別教育 ロボット安全講習会」を行いました。

産業用ロボットは、人為的ミスなどによって、重大な事故を起こしてしまう危険性があります。

安全に運用するためには、取り扱い方法やメンテナンスの知識・技術が必要になります。

この教育は、産業用ロボットに関わる作業員、全員受講しなければなりません。そのため山和エンジニアリングでは、エンジニアリング事業部で仕事をする社員の大半が受講しています。

2日間の講習は学科と実技で構成され、学科では、産業用ロボットの知識や法令について学び、実技では、ロボットを使用して 実際に動かしながら、操作方法等を学びました。

受講後には、「産業用ロボット特別教育 修了証」が交付され、ロボットに関わる作業ができるようになりますが、実際にロボットを操作する人には、他にも専門の教育が必要になります。

(文責：松本香織)



産業用ロボット作業者特別教育とは？

産業用ロボットに関わる作業員は、  
「全員」受講が必要。  
特別教育で学ぶべき項目は、法律で定められている。

エンジニアリング事業部システム設計課の松本香織さんに研修の感想を伺いました。

私は、機械の設計者として講習会に参加しました。

これから自分でロボットを使用した装置の設計するとき、人が便利で安全に使える装置を作れるように、様々な知識や技術を身に付けていきたいと思いました。



## ～最近のカフェ巡り記録～

最近あまりできていなかったカフェ巡りですが、今月は2回ほど高崎のカフェを巡りました。  
10月31日がハロウィンなので飾り付けの素敵なお店がたくさんあって写真をすぐに撮影してしまいます！！



### 金井いちご園

削りいちごをトッピングしてもらったヨーグルトのいちごスムージー  
スムージーにしたいいちごの品種を選ぶことができるカフェです。



### Lien(洋菓子専門店)

日本茶専門店の「ちゃきち」とコラボしたほうじ茶モンブランです。  
ボリュームがあったモンブランでした！！

## 編集後記

私は、入社してから今まで行ってきた業務を引き継ぎ、9月の後半から新たに請求業務の習熟を現在行っています。  
自分自身で請求に関わる情報を集め、お客様へ決められた日までに請求書を発行、社内の売り上げに関わる業務なので、とてもやりがいと責任がある業務です。  
はじめての事なので正直「私にできるかな？」という不安な気持ちもありましたが、「やってみなければ前に進まない」という気持ちに自然と変わりました。  
はじめての事に挑戦することは、誰もが通る道です。  
私は業務を行う上で、毎日の積み重ねが大切だと実感しています。  
積極的に質問・メモを取りながら前向きに努力をして、一日でもはやく丁寧に正確に完璧にできるように頑張っていきたいと思います。

株式会社山和エンジニアリング  
人事課 岡田朋子



株式  
会社

山和エンジニアリング

〒370-0871

群馬県高崎市上豊岡町575-15

TEL : 027-344-1260

E-mail: saiyou.m@sanwa-eg.jp